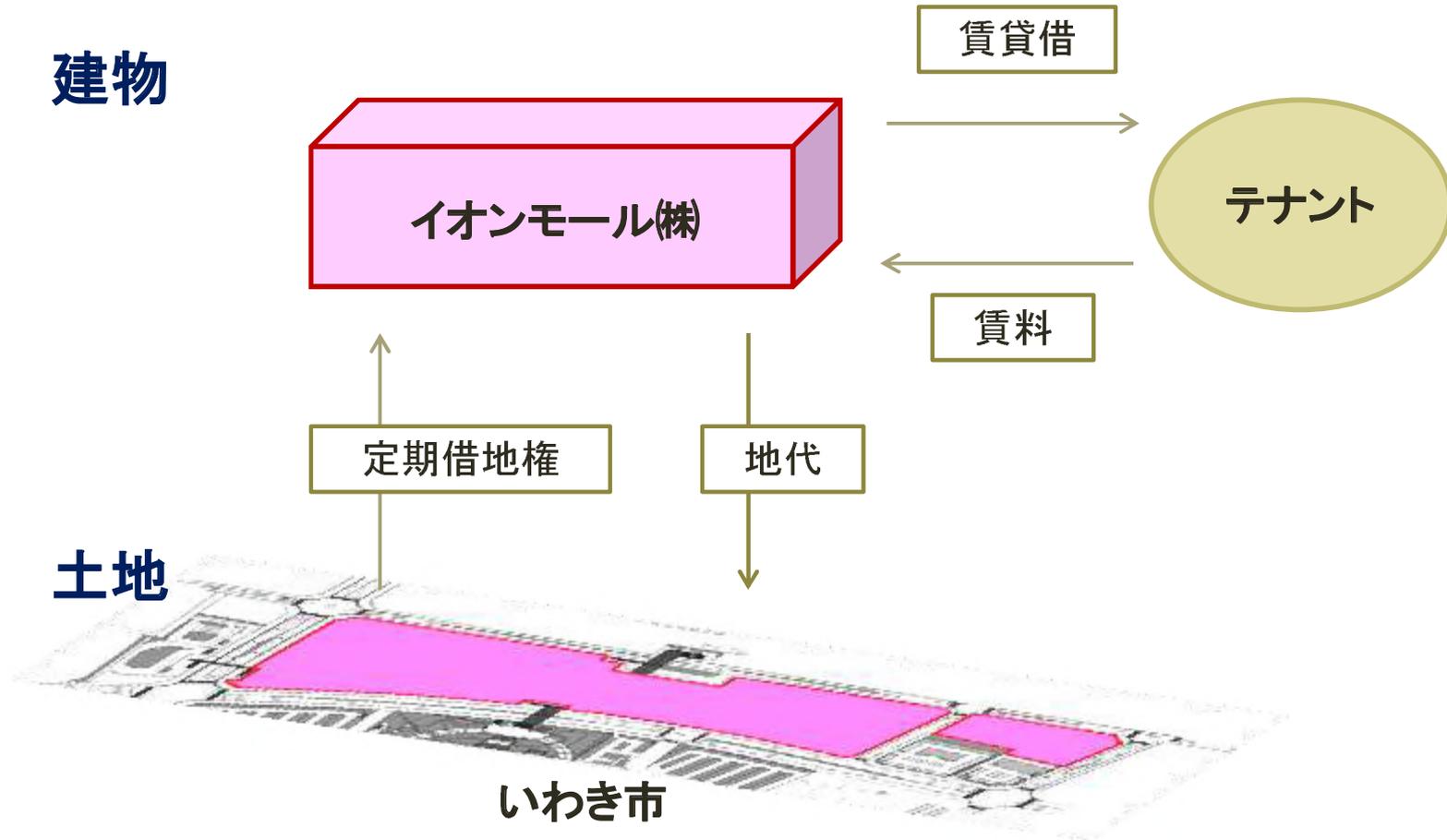


いわき市からイオンモールへの借地方式は事業用定期借地権とし、
借地期間は建築物の耐用年数を考慮し40年以上とする

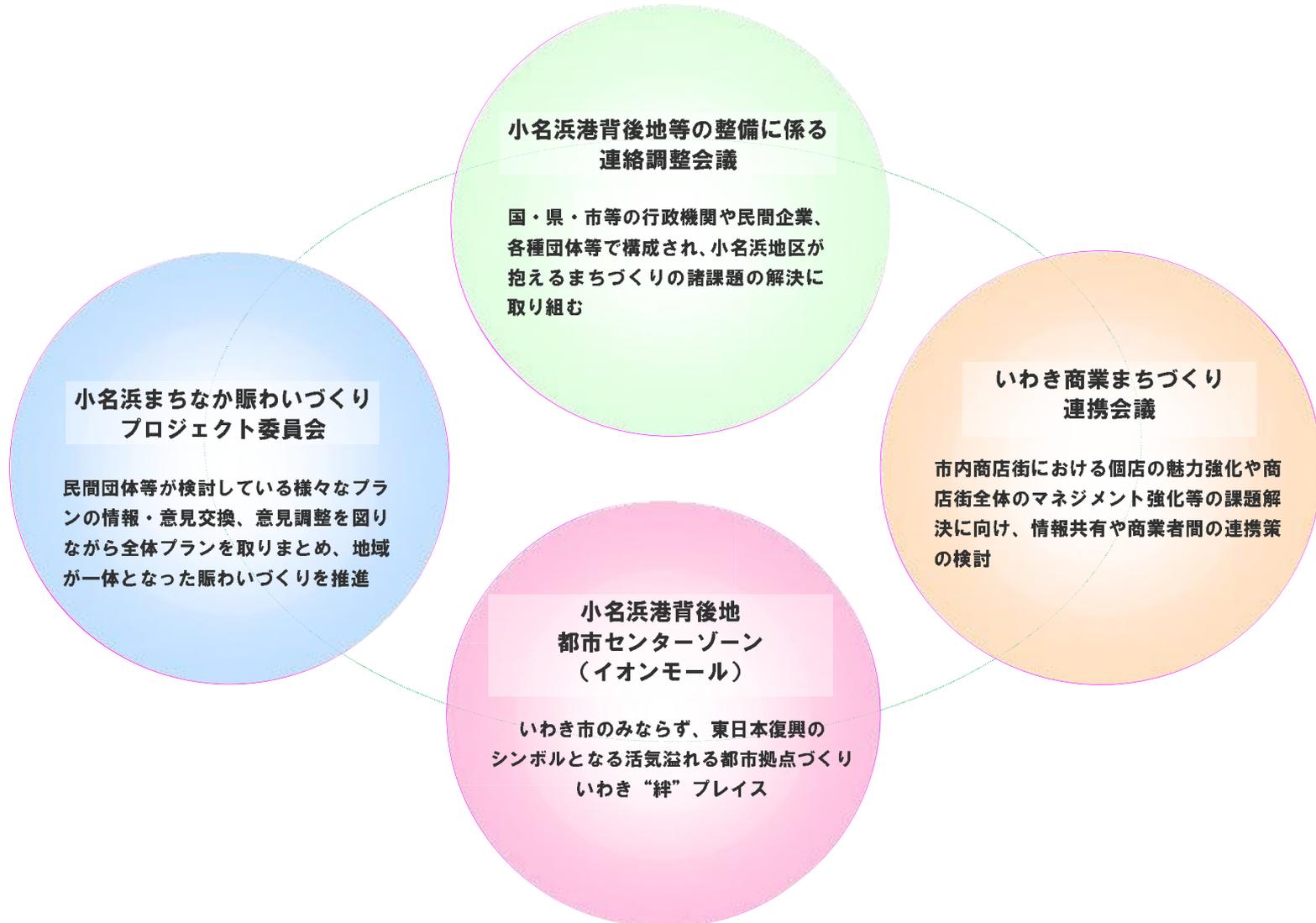


	開発時の主体	運営管理	維持管理	所有
マルチエンターテインメントモール	イオンモールが建設する	イオンモールが運営する	イオンモールが維持管理を行う	土地はいわき市 建物はイオンモール
アクアマリンパーク内駐車場	福島県・アクアマリンふくしまが整備する	アクアマリンパーク・イオンモールとで連携した運営を図る	福島県・アクアマリンパーク・イオンモールが連携した維持管理を図る	福島県
モール内通路	イオンモールが整備する	平常時はイオンモールが管理する 非常時はいわき市と連携し管理する	イオンモールが維持管理を行う	イオンモール
モール外デッキ	いわき市が整備する	平常時はいわき市が管理する 非常時はイオンモールと連携し管理する	いわき市が維持管理を行う	いわき市
交通ターミナル等	いわき市が整備する	バス・タクシー事業者が運営する	いわき市が維持管理を行う	いわき市
道路	福島県・いわき市が整備する	—	福島県・いわき市が維持管理を行う	福島県・いわき市
その他				

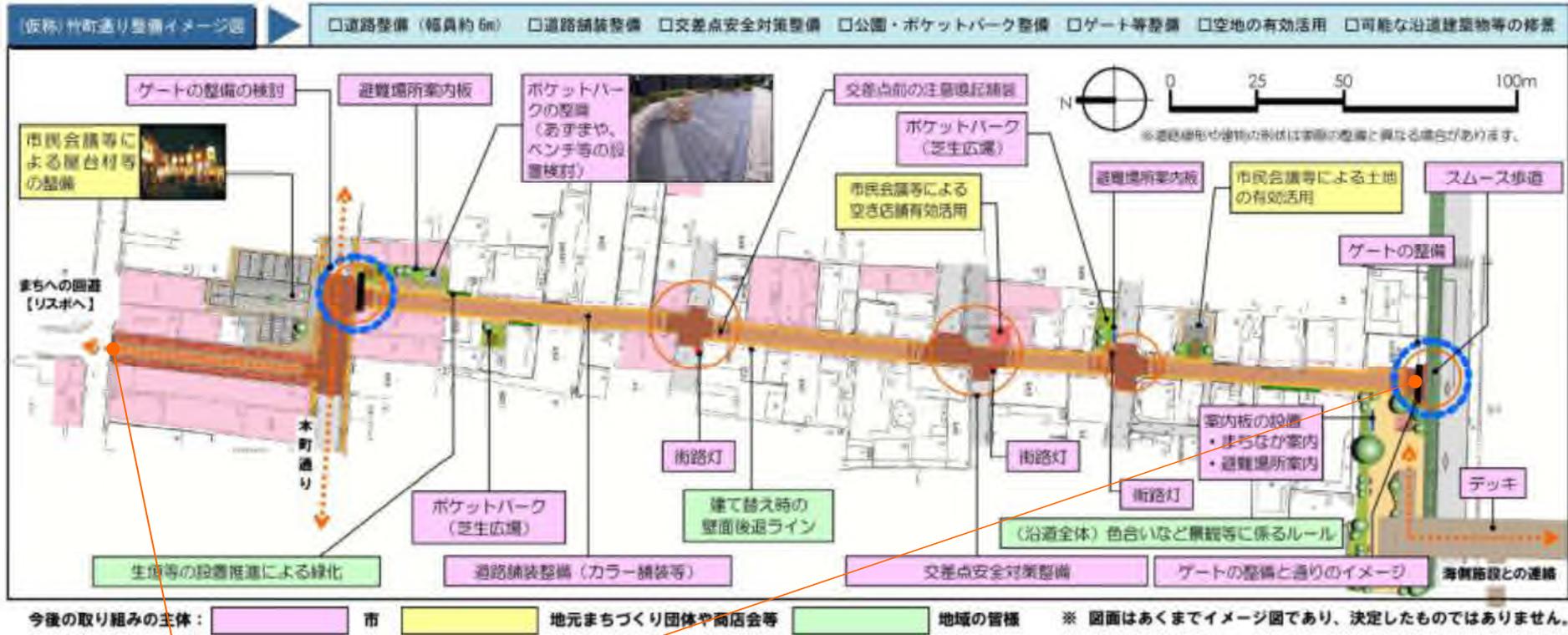
※今後の方針を示したものである

地域の一員として、まちづくり活動に積極的に参画する

～ 官民連携・地域事業者との連携協議体制 ～



地元まちづくり団体や商店会、地域の皆様と連携し、「都市センターゾーン」と「既成市街地」を繋ぐ「(仮)竹町通り」を活用しながら、アクアマリンパークやマルチエンターテインメントモールと既成市街地の回遊の形成に取り組む



(例) 共同イベントの実施、共同販促活動、ポイントカードの連携 など

地域活性化や風評被害払拭に取り組む

全国に立地するモールを活用したPR

イオングループ

国内及び海外に120を超えるショッピングモールを展開(2013年6月)

地域の魅力を最大限引き出す戦略や戦術(ノウハウ)

地域復興と商業まちづくり研究会

東日本国際大学、商工会議所、市民会議 など

活性化、復興に望まれる地域ブランドを調査・研究

市内の農林水産、観光、工芸、商品 など

6次産業 農商工連携

- ・地域独自のイメージ
- ・固有の気候
- ・資源の発掘、開発
- ・コンセプト
- ・栽培基準、出荷基準
- ・生産体制
- ・認定基準
- ・商標権
- ・市場調査
- ・デザイン
- ・販売ルート
- ・消費者対応



いわき農産物マスコットキャラクター「アグリ☆ファイブ」

2012年9月 小名浜のさんま販売支援



2013年5月 小名浜産かつおを全国へ

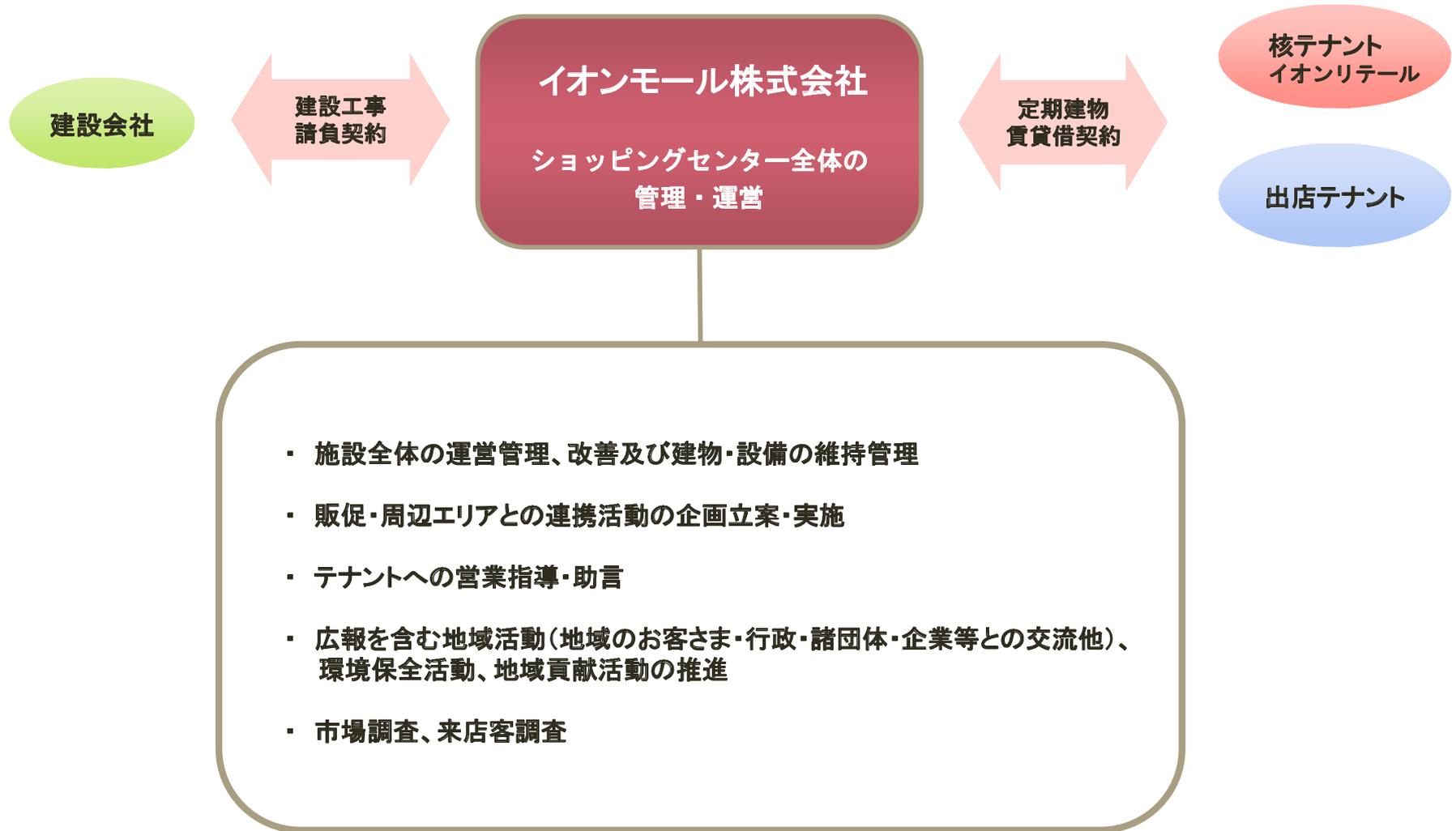


イオンモール幕張新都心にて山形県天童市の魅力をアピールした例



【天童フェア 内容】

- プロ棋士指導対局
- 将棋ラウンジ
- 将棋駒づくり実演販売
- ミニくちびるコンテスト
- 五角絵馬販売
- 花笠踊り
- 天童市物産販売 など

施設の建設・テナントリーシング・管理・運営における全ての業務を統一的に対応

アクアマリンパークや漁港区及び既成市街地と一体となった取り組み

地域交流イベント

- 地域の伝統文化や祭り等、賑わいのイベントを開催し、いわきの魅力を国内外に発信する。

いわきサンシャインマラソン



いわき花火大会



いわきおどり



アクアマリンパークや漁港区、既成市街地などでおこなわれる祭りやイベントと連動して、当該施設をサテライト会場にするなど、フェアやイベントに取り組むことで、まち全体を賑わいのあるイベント空間とする。また、地域の方々の文化・芸術活動の発表の場や、フリーマーケット、地元アーティストのライブ会場としても当該施設を活用可能。

モーダルシフト

- 市内観光施設や公共交通機関と連携し、環境にやさしい移動手段による相互利用とアクセシビリティの向上に取り組む。

高速バス・タクシーターミナル



電気自動車普及促進



レンタサイクル



地域プロモーション

- 商工会議所と連携した地域通貨の導入や、竹町での共同イベントの企画・参加等、地域振興策をとともに検討する。

FMラジオによる情報発信



「いわき・ら・ミュウ」内にあるFMいわきのサテライトスタジオ『ららスタジオ』と連携した地域プロモーションを協議する。

地域MAPづくり



地元まちづくり団体や商店会等と連携し小名浜マップの作成に取り組む。

「ご当地ワオン」による地域振興



商工会議所等と連携し、いわきWAOONに取り組む。

県・市・まちづくり市民会議等との協働による、まちと人の絆を深めるイベントやプロモーションに積極的に取り組む。

社会貢献活動

- 地域と一体となった活動と意識醸成の仕組みづくりをおこなう。

植樹活動

<イオンふるさとの森>

イオングループでは、すべてのショッピングセンターのオープンにあたり、緑を育む心が地域の人々に広がることを願い、地域に自生する樹木の苗木をお客さまとともに敷地内に植樹する活動に取り組んでいる。



地域ボランティア

<クリーン&グリーン活動>

地域に根ざした生活拠点としての責任感を醸成するために、従業員と地域の皆さまと力を合わせ、定期的に地域の清掃活動等のボランティアを積極的に行っている。



いわき市及び福島県、さらに東北地方全体の持続的活力を創出

地産地消・地産拡消の推進

いわきブランド・福島ブランドをはじめ、東北地方全体の生産品の価値向上に向けた取り組みを行っている。いわき市と東日本国際大学との連携事業「地域復興と商業まちづくりに関する研究会」と協働で地域ブランドに関する研究に取り組んでいる。

イオンでは、今後も、地元産品の販売やイベント開催、新たないわきブランドの開発支援など、**地産地消・地産拡消**を推進し、地元の漁業、農業生産者との連携を深め、関係者と共に、お客さまに継続的に、よりよい食を提供し続け、地域の食文化の持続の一助となるべく**いわき独自の魅力ある食を販売拡大・PR**する取り組みを進めていく。

地元の文化・伝統を大切に「地産地消」

地元の農産物や伝統的な加工食品を守り育てるために、イオンモールでは、テナントを通して「地産地消」を推進している。集客力の高いショッピングセンターを活用し、売場でのコーナー展開や朝市イベント、フェア開催など、お客さまへの積極的なPR活動をおこなっている。

全国のイオンで「東北を元気に！がんばろう東北応援フェア」開催

イオンでは、全国で展開している店舗網を活かし、東北6県の生産者の方々が精魂込めてつくられた生鮮品や加工品のフェアを開催。併せて、東北エリアのお取引さまを対象とした商談会も開催、全国のグループ店舗で販売する取り組みも進め、継続的且つ長期的に被災地の復興を支援している。



東北エリアのお取引引きさまとの商談会の様子

いわき・小名浜の名産品のPR拠点



小名浜産 メヒカリ

小名浜産 ウニ

いわき無花果

いわき梨

アクアマリンパーク内の施設や漁港、既存商店街と連携し、朝市やフェアを開催するなど、地元産品の販売の場を地域と一体となって創出し、地域色豊かなまちづくりを実現するとともに、地域の活性化に貢献する。

地元雇用の創出

地元雇用の最優先し、約2,000人の新規雇用を創出する。

地域をよく知る方の“**地元雇用**”は、暮らしのサポート機能を高めるキーマンとなるため、積極的、かつ優先的に実施する。また、高齢者雇用促進法にもとづく再雇用や継続雇用手続の実施を推進し、シルバー人材センターに活動場所を提供するなど、高齢者の雇用等にも積極的に努める。さらに、運営に関連して、**地元事業者への委託業務**の発生も見込まれる。



すべての人が生き生きと働く職場の実現



イオンモールでは従業員の就労環境の向上をはかるため、施設内に保育所を設ける他、休憩室には従業員専用の施設として、コンビニエンスストアやリラクゼーションスペース、パウダールーム等を整備している。

電子マネーWAON活用による地域活性化

周辺施設や商店街へのワオン導入による集客効果

アクアマリンパーク内の各施設や地元商店街、観光施設等にワオンを導入し、各施設とイオンの施設の双方で利用可能で、**お得なお買い物ポイントがたまるとり組み**を進めていく。同じ地元の運命共同体として共に販促をおこなうほか、図書館の貸し出しカードや病院の診察券の機能を付加するなど、地域施設の利用にも使え、利用者の利便性を高める。



WAONは、いつでも・どこでも・誰でも気軽に利用できる

“生活者のマネー”をコンセプトに順調に成長を続けている

「ご当地ワオン」による継続的な地域貢献

いわき市の名所の写真やキャラクターを使った地域独自の「ご当地ワオン」を発行し、**利用金額の0.1%を地元の復興基金に寄付**する取り組みを提案予定。観光施設や土産物店などでの支払いにも使え、地域住民や観光客へのPRにも活用する。さらに、利用者が参加しているという意識を持てるため、一過性ではなく、**継続的な地域貢献**が可能になる。



※(仮称)「いわき絆WAON」イメージ

「ご当地ワオン」の事例



「黄金の園、いわて。WAON」
2011年6月発行予定（岩手）



「信州アルプスWAON」
2011年4月発行（長野）

小名浜スタンプクラブとの連携に取り組みます



小名浜スタンプクラブの目的

まちづくり戦略の一環として、小名浜地域の様々な業種のお店が、更なる地域商業活性化のため、小名浜らしさあふれるスタンプ事業を進めることを目的とする。

スタンプクラブ、通称「スタクラ」とは（スタクラHPより）福島県いわき市小名浜地区の主要なお店が加盟。加盟店では、買い物をするたびにスタンプを渡す。そのスタンプを台紙に貼り、いっぱいになると500円分の買い物ができるほか、いろいろな特典や企画に参加することができる。

地域通貨としての取り組み事例

「イオン横須賀久里浜ショッピングセンター」では、2008年8月の開業に先駆け、横須賀市久里浜地区の6つの商店街区からなる久里浜商店会でのWAON導入を提案し、利用促進を図った。商店会とイオンのお互いへの送客・集客が実現し、**商店街の新規顧客の獲得につながる効果をあげている。**

商店会とイオンをつなぐ
共通インフラとして
WAONを導入

- 【取り組み例】
- ・ 共同で売り出しを開催
 - ・ 商店街でのワオン利用

久里浜商店会協同組合

京急久里浜駅前
商店街振興組合

京急久里浜駅前
本通り商店会

久里浜仲通り
商店街振興組合

久里浜中央通り
商店会

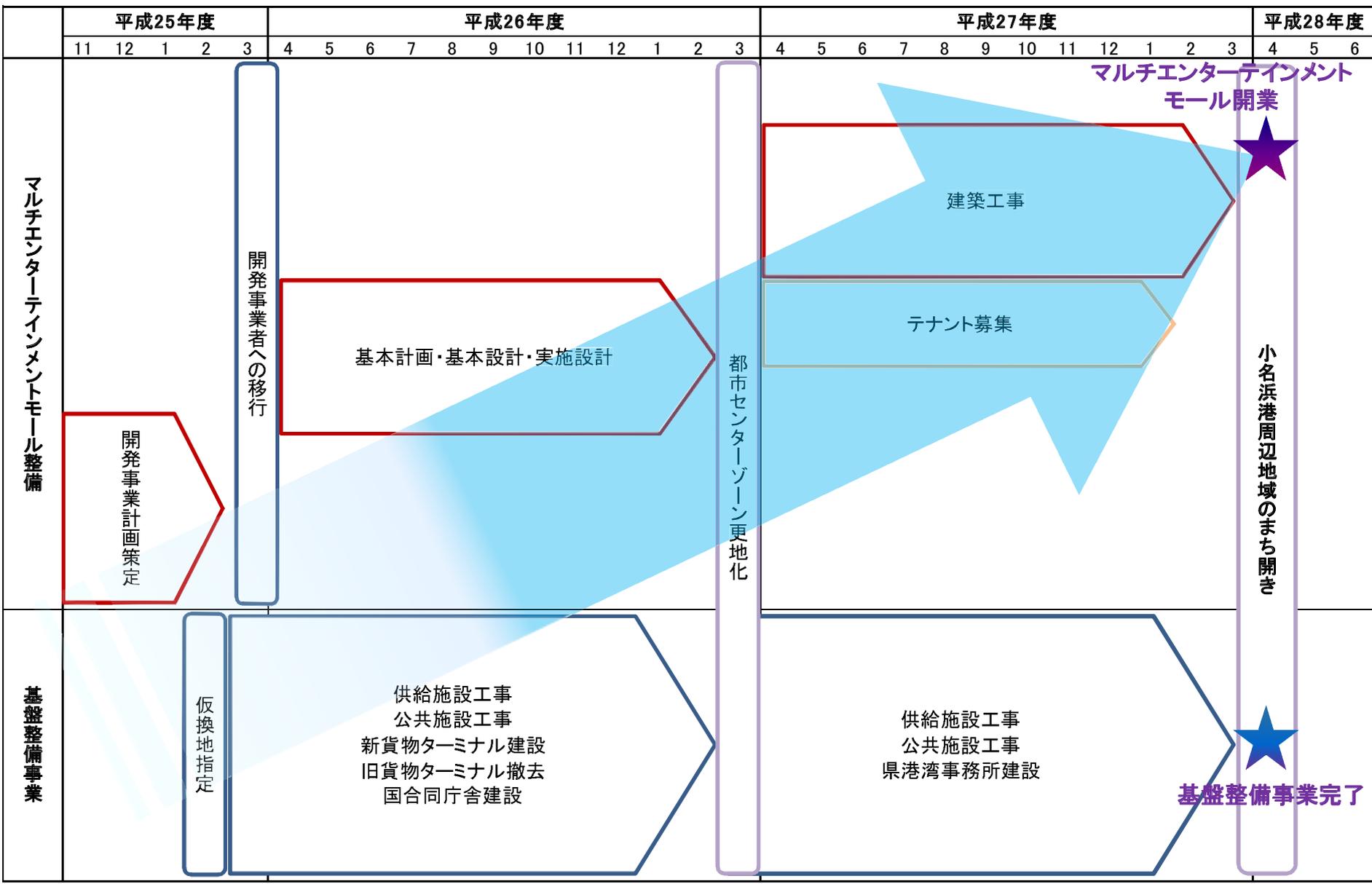
久里浜西口栄通り
商店会

久里浜すずらん通り
商店会

イオン久里浜店



WAON導入を決めた久里浜商店街協同組合理事長の森下氏



鳥瞰イメージパース(南より望む)



※パースはイメージであり、決定ではありません

鳥瞰イメージパース(北より望む)



※パースはイメージであり、決定ではありません